

中 信

「こま犬」建築…専門分野持ったガイド

個性生かして 松本平を案内

松本市内の会社社長やNPO法人理事らが、案内人の個性や専門分野を前面に出した観光ガイド事業「ココブラ」を今春スタートさせる。文化財や自然などの得意分野を持つ案内人が見どころを紹介し、通常の案内とは違う切り口から松本平の魅力を発信しようという準備を進めている。

会社社長ら 今春から



四柱神社のこま犬の前で話す高松さん(左)と松本さん

企画したのは松本市の不動産サイト運営会社「JOHO」の松本義隆社長(42)、NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団(安曇野市)の高松伸幸理事(50)と宮崎崇徳事務局長(52)の3人。高松さんは案内人付きの催しに携わるうちに「案内人によって面白くもなれば逆にもなる」と感じた。

案内人の個性や専門性を売りにした事業が各地にあることを知り、松本さんに事業展開を提案した。

3月下旬に報道関係者向けに開く模擬イベントのテーマは「こま犬」。全国のこま犬を探訪した高松さんが、四柱神社など松本市中心部のこま犬を案内し、特徴を解説する。一般向けには4、5月に10回ほど企画する予定で、「建築」「天蚕」「ネーチャー(自然)」などの専門分野を持つ10人ほどが案内人を務める。参加費は1人1500〜3千円程度を予定している。

「ココブラ」はJOHOの事業として取り組む。案内人は今後増やす考えで、松本さんは「(専門分野が)二

ツチ(隙間)であるほど良い。参加したお客さんが安曇野「うようにしたい」と話している。宮崎さんは「松本の企画にや大町にも行ってみたいと思う」。